



みなみやま

発行責任者 / 太田信吉 編集発行 / 愛知国際病院内・病院だより委員会
〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山 987-31 ☎(0561)73-7721

新入あいさつ

内科 川口レオ

数々の回り道、そしてこれから進む道

みなさん、はじめまして。川口レオと申します。愛知国際病院に勤め始めて半年、毎日大きな喜びを持って働くことができる幸せを感じています。

自己紹介をすこし。

大学を卒業して初期研修を終えたあと、しばらくの間、外科医として病院勤務をしていました。その後、ちょうど10年前のSARSのアウトブレイクをきっかけに、公衆衛生、とくに開発途上国の感染症対策について学びたいとの思いが強くなり、大学院に進学しました。研究室に所属し、アジアや中東の農村を回って、そこに暮らす人びとの健康問題に関する調査活動に従事していました。一人ひとりが健康な毎日を送ることができるために、生活環境や社会はどうあるべきか、そして人々の幸せのた

めに、医療というものが案外小さな役割しか果たせないことに気づかされました。とても貴重な経験でした。

そんな私が、こんどは内科医としてここ愛知国際病院に勤めるようになったのですから人生は分からないものです。公衆衛生時代に学んだ「生活や社会環境に目を向けること」の大切さを実際の医療現場で実践したいという気持ちが強くなったこともあります。また、東日本大震災を目の当たりにして、地域の中で自分にもまだ何かできることがあるのではないか、という思いもありました。今、ここで勤めるようになって、ああ、やはり

り自分は一人ひとりの病める人たちと向き合っているのが好きなんだなぁと実感しています。



わずか数百文字でまとめてしまうと、ちょっとした「大転身」ですよ。よく人から「なぜそんな決

心ができたのか」と問われることもあります。明快な答えを出すのはなかなか難しいのですが、本当は一朝一夕に人生が変わるというものではなく、毎日の出来事の積み重ねから、少しずつ変わっていくのではないのでしょうか。

愛知国際病院では、祈りの時間から毎日が始まります。自分を見つめ、今日始まる新たな人生、小さな成長を感じながら毎日の仕事についています。その日出会うすべての人が、自分の成長に力を貸してくれることを実感しています。

サン・テグジュペリの「星の王子さま」の中で、王子さまと友だちになったキツネがこう言っています。

「面倒をみた相手にはいつまでも責任があるんだよ」

どんな小さなことであれ、自分のしたこと、発した言葉が、何かのかたちで人に影響を与え、ときには小さく、ときには大きくその人の人生を変えていると思うと、なんだか恐ろしくなります。けれど、そうやって人は自分の人生を歩み、成長していくのでしょうか。

紫苑からのお知らせ

ボランティアコーディネーター 高田 清子

ホスピスでボランティア犬として活動していたラブラドルレトリバーのナイトが亡くなりました。

ナイトについては、昨年の秋にこの欄でもご紹介しましたので、覚えていてくださる方もいらっしゃると思います。

6年前に盲導犬を引退し紫苑ボランティアのお宅に引き取られてから、先代のボランティア犬デイジーと同じように毎週月曜日の午後、

この原稿を書いている間にも、深夜の外来に患者さんがやってきました。ほんの数十分の診察で、どれだけ彼の苦痛を取ることができたかはわかりません。それでも、間違いなく私は彼に関わった人、彼の人生に多少の責任を負う人になりました。それと同時に、彼も私を成長させてくれた大切な人になりました。

この先私はどこへ向かっていくのか、正直よくわかりません。それでも、明日言葉を交わす人一人ひとり(あなたかもしれません!)との出会いの中で、これからの私の進む道がつくられ、最後に振り返ってみたとき、そこには一際曲がりくねった一本の道があるのだと思うと、わくわくせずにはいられません。愛知国際病院に関わるみなさん一人ひとりの道と、近づいたり離れたったり、ときには交差したりしながら、長くともに成長し、だいたい同じ方向に向かって歩んでいきたいと思っています。これまでの出会いと、これからの出会いに感謝しつつ。



ホスピスの2階ラウンジで活動していました。

さすがにここ2~3ヶ月は足腰が弱りつらそうな日もありましたが、犬好きの患者さんやご家族が待っていて下さり、最後までセラピー犬としてがんばってくれました。

ご家族に和やかな時を届けることがボランティアの役割だと言われますが、ほんとうにナイトは、そこにいてだけでラウンジをほっとする空間にしてくれました。また、ボランティアはもちろん、忙しいスタッフにとっても癒され、愛される存在でした。

長いことお疲れさまでした。

初穂の言いたい放題

小児科 井手 初穂

親もすなる婚活

4年前に、コンカツ・リカツというドラマをテレビでやっていました。漢字にすると婚活、離活となります。つまり、結婚しようとして頑張っている人と離婚しようとしている人の物語でした。ドラマの中ではいろんな設定の婚活パーティーが紹介されていました。

いまや一般常識となった婚活パーティー。その始まりは、どこかの企業の戦略からであったことを最近知りました。バレンタインのチョコレートと同じですね。結婚相談所に登録するには高いお金が必要なので、若者は登録しません。でも、婚活パーティーだと気軽に結婚を意識した男女が集まってくれるということで、大ブレイクしたのです。合コンから結婚に持って行くのは相手の気持ちがあかなくて難しいと感じるそうです。それに対して、婚活パーティーでは参加しているだけで結婚する意志があるとわかるから、楽だとか。そこには、マニュアルと予め用意されたコースがあります。大人の敷いたレールの上を歩くに抵抗し続けていたはずの若者が、そういうものに飛びつくなんて驚きです。

さらに驚いたのは、ドラマの中で紹介されていた、子どもの婚活のための親世代の婚活パーティーです。物語の中での想像のパーティーかと思っていたら、どうやら実在するものなのです。子どもがお見合いす

る気がなかったり、お見合いしてもなかなか上手くいかなかったりする場合に、まず親が代わりにパーティーをして、それぞれの家柄や親同士の相性を確かめます。そして、親同士の条件が合って意気投合したら、子ども同士を引き合わせるというシステムになっています。

おーっ！ついに、ここまで来たのか！！古来、どこの国でもお見合いという方法で、家柄や条件を最初に考えて、出会いを設定するということをやっていました。



でも、親による婚活パーティーとは、随分趣が違います。お見合いは、仲人という仲介をする人がいます。その人が、ぴったりしそうな組み合わせを考えて進めていきます。でも、親による婚活パーティーは、より積極的に親が相手を

品定めします。相手を選ぶのはまさしく親なのです。しかも選ぶ相手はまずその人を育てた親です。まるで、親の決めた許婚。かのジュリエットにも許婚がいましたね。でも、これほど直接的に親が介入する婚活って、いいのかなあと感じてしまいます。おそらく、親が焦り始めるのですから、いわゆる結婚適齢期を過ぎている場合がほとんどなのでしょう。そして、その子は結婚に興味が無い場合もあるのでしょうか。

親もすなる婚活。そこには、結婚に対する強い親の意志が感じられますが、子どもの結婚への意志はどうなっているのでしょうか？そして、どこまでも子どものために頑張ってしまう親と、親の敷いたレールを走って、体だけ大人になった自立できない子どもの姿がちらつきます。

親というものは、何時までたっても子どもが心配なものです。私だって、未だに親に心配されていますし、我が子のことを心配しています。でも、精神的に支えるということと、行動して支えるということの間には、とても大きな違いがあります。さて、いささか疑問

AHIからのお知らせ

AHI 歓迎パーティ

今年もAHIの国際研修にアジア9か国から12名の研修生がやってきます。

アジアのスイーツやお料理、アジアの歌や踊りもとびだします。

どなたも遊びに来てください。(一品持ち寄り大歓迎!)

日時：2013年9月14日(土)
16:00～18:00

場所：アジア保健研修所 地下研修室

参加：無料(申込をお願いします)

アジアの地域づくりワーカーとの交流会

人々の健康を守るために地域づくりをおこなっている保健ワーカーとじっくり膝を交えて語り合う会です。

「アジアを知りたい」「途上国の現場に興味がある」「地域づくりに関心がある」そんな方はぜひご参加ください。

当日は通訳ボランティアがサポートします。

の残る「親もすなる婚活」ではありますが、それをきっかけに、親子で結婚について話し合い、互いの気持ちを理解することができれば、それは、素晴らしい出会いのチャンスとなることでしょう。

AHI オープンハウス

毎年恒例のアジアのおまつり!

アジアの音楽や踊り、料理、遊びと盛りだくさんです。

アジアからの研修生のミニ講演会・ワークショップもあります。

日時：2013年10月14日(月・祝)

10:00～16:00(予定)

場所：アジア保健研修所(会館内と駐車場)

交通：駐車場は愛知池横のNECソフトウェアの駐車場をお借りしています。

当日は名鉄「黒笹駅」とNECソフトウェアとをシャトルバスで結びます。(AHIの前の駐車場は愛知国際病院の見舞客専用となります)

日時：2013年9月28日(土)

13:30～18:00

場所：アジア保健研修所(AHI)

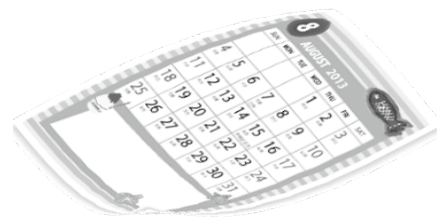
参加：無料(申込をお願いします)

定員：60名

テーマ：アジアから学ぶ地域のあり方

内容：バングラデシュ、カンボジア、インドネシア、ネパール、パキスタン、東ティモール、フィリピン、スリランカ、タイからの研修生と小グループに分かれてのトーク(通訳あり)

チャブレン中井の日々雑感 (9)



「カレンダー」

チャブレン 中井 珠 恵

ホスピスのお部屋にある備品の中で忘れてはならない大切なものは、カレンダーです。新しくいらっしゃる方のお部屋には、新しいカレンダーが掛けられています。

なぜカレンダーが大切かといいますと、病室での生活が続くと日にちはもちろん曜日さえも分からなくなるからです。カレンダーに入院日や入浴予定日を記入する方がいらっしゃれば、一日が終わると斜線を引く方もおられます。お菓子の袋を留める金色の針金で輪を作ったものを糸でぶら下げてその日を金色の輪で囲むように工夫する方もおられました。

カレンダーの使い方でも多いものの一つが、面会者の名前の記入です。Aさんもそうしておられました。Aさんはお一人暮らしでした。子どもさんは遠方でしたので、一週間か十日に一度面会に来られていました。Aさんは、せっかく来られた子どもさんに「あんた忙しいし、旅費もばかにならんのかな。看護師さんたちがちゃんと見てくれるからいいよ」と追い払うように言われました。それ

でも子どもさんは欠かさず来られ、次来る日付けにご自分の名前を書いて帰られました。

ある日のお昼前にAさんのお部屋へ伺いました。朝から倦怠感が強くて朝ごはんも食べられず、お薬をもらって横になっておられました。Aさんは目をつぶっておられたので、すぐに退室しようと思いました。するとAさんは「ちょっと」と呼び止め「今日は何日かね」と聞かれました。カレンダーを見ると二日後が面会日でした。「×日です」とお伝えすると、Aさんはカレンダーを確認し「これはいかん」と言いながら身体を起こされました。「明後日は〇〇さんがいらっしゃる日ですね」と伺うと、「そうだね。ちょっと楽になってきたから、昼はいただくかね」と言ってくりとひと口お茶を召し上がりました。お昼ごはんまでの間お話を伺いました。「〇〇はね、もともと英語に興味があって、大学生のときに留学したんだよ。卒業した後も英語を使う仕事をね。わたしにゃよう分からんけどなかなか競争の激しい仕事みたいで夜も

賛助会員募集のお知らせ

愛知国際病院ホスピスでは、賛助会員を募集しています。アメニティーの充実（施設環境、造園、園芸）、ホスピスでの諸行事、ホスピス相談の充実、広報啓蒙活動、家族会の開催、ボランティアの活動、教育活動のために是非ご協力をお願いいたします。（ご入会いただいた方には年4回の「みなみやま」をお送りいたします。）

入会
方法

下記の口座に会費をお振り込み下さい。

郵便振替口座 00890-5-3757

口座名義 愛知国際病院ホスピス賛助会

一口 1000 円（おいくらでも結構ですが、できましたら5口以上でお願いいたします。）

遅いらしいわ。週に一回休みがとれたらいいほうだって。そしたら休みゃあいいのに、わざわざこっちに来るってねえ」。Aさんはそう言いながらも、うれしそうに子どもさんの名前が記されたカレンダーを眺めておられました。

病室での時間は単調になりがちです。さらに倦怠感や痛みがあると長くて辛いものになります。そんな毎日にカレンダーは、小さくても希望や目標を刻んでくれる大切なものです。Bさんは「ここは緑があって風通しがいい」と、病室をずいぶん気に入って下さいました。そしてCさんは、看護師やボランティアがお部屋へ行くたびに「ありがとう」とおっしゃいながら過ごしておられました。こうしてみなさんのすてきな旅の思い出を伺っておりますと、いつか自分の旅の思い出が語れる、そんな人生を歩みたいと思うようになりました。



愛泉館からのお知らせ

今年度の愛泉館夏祭りは

8月4日(日) 17:30～

…心に残る夏の記憶を夏祭りを通して、回想し、心身の活性化につなげたい…という思いを持って、下記のようなテーマで夏祭りを開催します。夏が来れば思い出すことは……!

愛泉館の夏祭りに是非お出かけください。盆踊りに三好太鼓、焼きそば、五平もち、串カツ、愛泉館名物はし巻き、など出店もあります。

～こころの夏～

テーマ 思い出の架け橋

日時 8月4日(日) 17:30～19:30

場所 愛泉館駐車場他(雨天決行)

- 猛暑の季節がやってまいりました。脱水症状を起こさないように水分をしっかりと、適度な冷房をかけましょう。無理なく過ごせるよう、こころにゆとりを持ちましょう。
- 外来待合いに設置いたしておりました草花の葉書は、しばらくの間休止いたします。これまで約12,000枚、のべ4,000人あまりの方にご利用頂きました。

これまでお寄せ頂いているご意見・ご感想、大変感謝致しております。今後ともよろしく願い申し上げます。

宛先は

〒470-0111 愛知県日進市米野木町南山987-31 愛知国際病院内「みなみやま」編集部

電子メールの場合、アドレスは m.kondo@aisen-kai.jp です。お待ちいたしております。

編集長 近藤正嗣